

【作品名】 おやつについて 考えよう！！	【学校名】 日立市立久慈小学校
【活用できる領域・教科等】 生活単元学習 学活	【制作者名】 中原 則子
【制作の意図】 おやつの中には、どれ位の砂糖が入っているか予想させ、角砂糖の実際量との比較で、いかに多く砂糖が含まれているか実感できるようにしていく。知らずに普段食べていたことを知ることが大切である。	【使用の方法】 1日に必要な砂糖の量は、料理に使う分も含めて角砂糖4個分の、20グラムである。(角砂糖4個のカードを提示する) それぞれのおやつに含まれている角砂糖の数を1つ1つ答えさせながら、角砂糖のカードを貼っていく。また、砂糖の多いおやつの食べ過ぎによる悪影響について説明していく。
【制作上の工夫】 学習意欲を高めるために、日頃児童が食べているおやつのイラストを活用して、どれ位の砂糖が入っているのか視覚的に捉えるようにした。 砂糖の多いおやつを食べ過ぎると体はどうなるのか、肥満、虫歯、骨折しやすい、イラついた目を、とも君(男の子)の上に貼りながらおやつの食べ過ぎによる悪影響について説明していく。	【見取り図】 1日に砂糖は、角砂糖4個 (20グラム) → おやつのイラスト → 角砂糖
【写真】 	【使用効果と応用発展】 おやつの中には、どれくらいの砂糖が入っているか予想することにより、角砂糖の実際量との比較で、いかに多く砂糖が入っているのか視覚的に捉えることで実感でき、納得することができた。 また、スナック菓子は砂糖の量は少ないが、塩分や脂肪が多いことも分かった。 今後生活の中で、おやつや飲み物について気を付けていこうと気付くことができた。
【材料・材質・部品等】 おやつのイラスト 角砂糖 男の子(ともくん)	